

令和7年度 事業活動報告

社会福祉法人 すこやか福祉会

障害者支援施設
かたくりの里

〒953-0103

新潟県新潟市西蒲区橋本88番地1

TEL 0256-82-1811

FAX 0256-82-1815

社会福祉法人すこやか福祉会 障害者支援施設 かたくりの里は、全国身体障害者施設協議会に加盟する施設として、『障害者の権利に関する条約』の理念を遵守し、「最も援助を必要とする最後の一人の尊重」「可能性の限りない追及」「共に生きる社会づくり（ケアコミュニティの創造）」という身障協の基本理念を実現するため、ここに倫理綱領として定めます。

全国身体障害者施設協議会 倫理綱領

社会福祉法人 全国社会福祉協議会
全国身体障害者施設協議会

1. 私たちは、基本的人権を尊重し、自己決定支援を含め、利用者一人ひとりの思いに沿ったその人らしい生活を支援します。
2. 私たちは、日々の実践を検証し、利用者に安全、安心、快適な支援を提供します。
3. 私たちは、自己研鑽に努め、専門的な知識と技術と価値観をもって、個別支援を基礎として、良質な支援の提供と自己実現支援を行います。
4. 私たちは、利用者に必要な情報をわかりやすい方法で提供し、要望にはすみやかに対応します。
5. 私たちは、広く多くの支援を必要とする障害のある方々のための支援を開発し、提供します。
6. 私たちは、多くの支援を必要とする障害のある方々をとりまく環境の改善と福祉文化の醸成に努めます。
7. 私たちは、関連機関・団体、地域住民等とともに、地域の拠点として事業を展開します。
8. 私たちは、透明性を堅持し、健全かつ活力ある経営にあたります。

障害者支援施設 かたくりの里 職員行動規範

～利用者の感動と楽しい職場のために～

前文

私たち 障害者支援施設かたくりの里 職員は、自らの行動に責任と自覚を持ち、地域社会の一員として行動するための基本的な指針として「障害者支援施設かたくりの里 職員行動規範」を定め、これを職員相互で常に確認し合い遵守します。

1 社会的ルールの遵守・コンプライアンスの徹底

私たちは、強い意志の下、関係法令、法人の定めた諸規程はもとより、法人の理念や社会的ルールの遵守を徹底します。

2 個人の尊厳

私たちは自らの先入観や偏見を廃し、利用者の個性や気持ちを真摯に受け止め、誠実な態度で、利用者一人ひとりに接します。

3 人権の尊重

- (1) 私たちは、利用者の人権と人格を最大限に尊重し、個性や感性の違いを認め、全ての人が平等であるという考えの下に行動します。
- (2) 私たちは、体罰、暴言、威圧的・強制的対応、無視、差別的対応、嫌がらせ（ハラスメント）、身体拘束、プライバシーの侵害など、人権侵害行為は決して行いません。
- (3) 私たちは、人権侵害行為や虐待を発見した場合は、直ちに上司に報告し、「虐待防止委員会」を速やかに開催し適切に対応します。

4 安心で安全な暮らしの保障

- (1) 私たちは、リスク管理に万全を期し、事故防止および安全の確保に努めます。
- (2) 業務上知り得た個人情報決して外部に漏らしません。退職後も同様とします。

5 自己選択・自己決定権の保障

私たちは、利用者の特性に応じた働きかけや説明を行い、可能な限り自己選択・自己決定ができるように支援します。

6 満足度の高いサービスの提供

私たちは、利用者の意思やニーズを十分に把握し、「やすらぎ」と「生きがい」のある生活が送れるようにサービスを提供します。

7 社会参加の促進

私たちは、社会資源の活用や情報提供を積極的に行い、利用者の社会参加の促進に努めます。

8 専門性の向上

- (1) 私たちは、利用者支援の専門性を高めるため、常に努力と自己研鑽に努めます。
- (2) 私たちは、各種資格の取得に努め、専門性の向上を図ります

令和7年度かたくりの里 事業報告

<目 次>

ページ

1	理念・基本方針	1
2	令和7年度 事業方針	2
3	令和7年度 中期方針 振り返り	2
4	障害福祉サービス事業	3
	施設入所支援	3
	生活介護	3
	短期入所	4
	指定特定相談支援事業	5
5	職員体制	6
6	生活支援課業務報告	6
	入所支援係	6
	地域支援係	7
	療護係	8
	総務係	12
7	業務委員会	13
	権利擁護	13
	安 全	15
	環境整備	16
	生活向上	17
	防 災	19
	研 修	19
	日中活動	22
	情報管理	24
	業務検討会	25
8	施設外活動	27
9	地域交流	27
10	補助金・助成金等事業報告	28

1 理念・基本方針

○運営理念

HAPPY & ENJOY
～ ころ豊かな暮らしを 地域と共にあゆむ ～

○目的

障害者支援施設 かたくりの里は、利用者が自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、入浴、排せつ及び食事の介護、創作的活動又は生産活動の機会その他必要な施設障害福祉サービスを適切かつ効果的に行うことにより、障害者の福祉の増進を図ることを目的とする。

○方針

障害者が日常生活または社会生活を営むための支援は、障害の有無にかかわらず等しく基本的人権を享有するかけがえない個人として尊重されるものであるとの理念に乗っ取り、すべて障害者は、個人の尊厳が重んじられ、その尊厳にふさわしい支援を保障される権利を有するものとする。すべて障害者は、社会を構成する一員として社会、経済、文化その他あらゆる分野の活動に参加する機会を与えられるものとする。利用者の尊厳、人権とプライバシーを重視した対応に心掛け、充実した人生を安全で快適な生活環境のもとで過ごせるように配慮する。また、高齢化等による2次障害の防止に努めると共に、地域社会との幅広い交流を通して健全な生活が営まれる開かれた施設の運営を行う。

施設の中だけで生活が完結することではなく、社会の構成員として社会参加し、障害者問題に対する地域住民からの理解と認識を深めるための啓発活動も必要である。利用者の社会生活を促進し、地域生活・在宅生活へ移行するために必要な援助や地域等との連絡調整を積極的に行う。

○利用者個人の尊厳を尊重し、適性、障害の特性その他の事情を踏まえて個別支援計画を作成します。
これに基づき利用者主体のサービスを提供するとともに、その効果について継続的な評価を実施し、利用者に対して適切かつ効果的なサービスを提供します。

○生活の場としての施設支援サービスの提供とともに、地域生活への移行を意識した社会生活力向上プログラムや積極的な社会参加を促進していくプログラム、日中活動を提供します。

○開かれた施設を目指し、地域交流スペースの活用と地域との連携を図ります。

2 令和7年度 事業方針

- (1) 「HAPPY & ENJOY」を合い言葉に、明るく楽しい生活空間を創造する。
- (2) 利用者のニーズを把握し、個別支援計画を策定し実施する。
- (3) 利用者が積極的に社会参加できるよう社会生活力向上プログラムを計画し実施する。
- (4) 利用者が主体的に活動できるよう自治組織と協力する。
- (5) 計画相談支援の事業を行うことにより、障害福祉サービス利用者の利便性を向上させる。
- (6) 利用者の苦情等に対しては、真摯に受け止め解決を図るように努める

3 令和7年度 中期方針 振り返り

○接遇力向上の取組み（令和5年～7年）

- ・接遇力向上のための研修を全職員に実施した。
- ・適切な支援に向けた行動目標を定め、毎日唱和した。

○福祉人財の育成と定着に向けた取組み（令和5年～7年）

- ・全職員に対し自己申告書を実施し、希望者に対し面接を実施した。
- ・ビジョン実現型人事考課制度トライアル運用に関する説明会を業務検討会にて実施し、全職員に目標管理を行った。

○意思決定支援の推進（令和6年～8年）

- ・身障協版 意思決定支援ガイドラインを購入し、全職員へ配布した。
- ・意思決定支援に関する施設内研修を実施
- ・地域移行に関する要綱を作成。また、意向確認のための書式を作成した。

○地域連携推進会議の開催（令和7年～9年）

- ・令和7年7月29日に第1回地域連携推進会議を開催した。
- ・外部団体から6名の方に参加していただき、会議開催に併せ施設見学も実施。

○施設設備整備（令和6年～8年）

- ・令和8年3月 トイレ用加圧給水ポンプユニット更新工事

4 障害福祉サービス事業

■施設入所支援（令和7年4月1日～令和8年3月31日）

定員50名（ALS居室利用者は定員内数で利用する）

障害支援区分4（50歳以上は区分3）以上が該当する。

入退所動向

入所 男性2名 女性1名

退所 男性3名 女性2名

令和8年3月31日現在

		障害支援区分				年 齢		
性別	利用者数	3	4	5	6	最小年齢	最高年齢	平均年齢
男性	29	0	4	15	10	25歳3ヶ月	79歳1ヶ月	59歳11ヶ月
女性	19	0	0	3	16	34歳6ヶ月	78歳10ヶ月	59歳6ヶ月
	48	0	4	18	26	男女平均年齢 59歳9ヶ月		

令和7年度 施設入所支援 利用状況・稼働率

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
月末登録者数	50	50	50	50	50	50	50	50	49	49	49	48
延べ人数	1446	1430	1331	1486	1469	1467	1505	1453	1519	1483	1311	1432
入院・外泊	54	106	154	50	80	33	45	47	0	18	34	56
稼働率(%)	96	92	90	96	95	98	98	97	98	96	93	93

令和7年度年間稼働率 95%

令和8年3月末待機者 男性 0名 女性 0名 計 0名

■生活介護（令和7年4月1日～令和8年3月31日）

定員 50名

施設入所は区分4（50歳以上は区分3）以上

地域生活（通所等）区分3（50歳以上は区分2）以上が該当する。

支給量は施設入所、地域ともに月数－8日

営業時間は8：30～17：00。土日と年末年始の送迎サービスは実施しない。

令和8年3月31日現在

令和7年度 通所 登録利用者 26名

(地域)		障害程度区分					年 齢		
性別	利用者数	2	3	4	5	6	最小年齢	最高年齢	平均年齢
男性	14	0	2	4	2	6	19歳3ヶ月	62歳9ヶ月	43歳3ヶ月
女性	12	1	2	1	2	6	28歳5ヶ月	67歳4ヶ月	50歳2ヶ月
	26	1	4	5	4	12	男女平均年齢 46歳1ヶ月		

令和7年度 生活介護 利用状況・稼働率

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
施設利用者	1066	1067	994	1106	1097	1073	1113	1062	1123	1105	941	1067
通所利用者	164	163	160	168	145	162	168	151	154	160	163	179
延べ人数	1230	1230	1154	1274	1242	1235	1281	1213	1277	1265	1104	1246
稼働率(%)	82	79	75	82	80	82	83	81	83	83	79	80

令和7年度年間稼働率 81%

■短期入所 (令和7年4月1日～令和8年3月31日)

令和7年度利用登録者数 33名 男性 16名 女性 17名

地区	男性	女性	短期利用の理由 (人)	特記事項
西蒲区	6	6	介護者の負担軽減(10) 緊急 (2)	生活介護併用(6)
南区	0	1	介護者の負担軽減 (1)	
燕市	9	9	介護者の負担軽減(12)	生活介護併用(5)
三条市	1	1	介護者の負担軽減(2)	

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
利用者数	16	20	23	17	22	21	23	20	20	21	21	20
利用日数	70	88	101	74	82	89	81	111	94	91	93	91

定員 5名 併設福祉型短期入所サービスを提供した。

令和7年度年間稼働率 58%

半数の利用者が生活介護を併用し、短期入所と日中活動を併用する短期入所(Ⅱ)を算定。宿泊をともなうサービス提供なので、施設入所支援係との連携が不可欠であり、入退所に伴う事務処理、荷物のチェック等、利用者に迷惑がかかるといけないように職員間での連絡・報告を確実にする必要がある。

□国土交通省短期入所協力事業

自動車事故が原因で、重度の後遺症を持つため、日常生活動作について常時又は随時介護が必要な状態の方を受け入れる施設として、平成27年10月に指定を受けた。

令和7年度受入実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
利用者数	1	1	1	1	1	1	1	0	1	1	1	1
利用日数	4	4	4	4	4	4	4	0	4	3	4	4

□新潟市地域生活拠点等事業

在宅で生活する障がいのある方で、高齢のご家族等と生活する方を対象とし、緊急時の受け入れ・対応を行い、安心安全な地域生活の継続を支援するため、令和3年4月に登録を行った。

令和7年度受入実績なし。

指定特定相談支事業

地域連携相談室 すこやか 令和7年度事業活動報告

(1) 相談支援事業の概要

「地域連携相談室 すこやか」の指定計画相談支援の事業を行うことにより、障害福祉サービス利用者の利便性を向上させる。

- 指定計画相談支援
- サービス利用支援
- サービス等利用計画案及びサービス等利用計画の作成
- 継続サービス利用支援
- サービス等利用計画の見直し

<実施状況>

月	計画作成数	モニタリング数	計
4	0	7	7
5	3	6	9
6	9	1	10
7	6	5	11
8	6	6	12
9	3	8	11
10	6	1	7
11	3	3	6
12	2	9	11
1	0	6	6
2	2	6	8
3	2	5	7
合計	42件	63件	105件

(2) 事業の内容

【人員配置】 管理者 1名（相談支援専門員兼務）
相談支援専門員 2名（常勤専従1）（常勤兼務1）

【主たる対象とする障害】 特定しない

【営業日時】 月～金 8：30～17：15 但し、祝日、12月29日～1月3日を除く

【通常の事業実施範囲】 新潟市西蒲区 燕市 弥彦村

【他機関との連携体制】

- ・障害者支援施設かたくりの里 入所支援係、地域支援係と連携した。
- ・西蒲区自立支援協議会相談支援事業所会議への参加と共に、西蒲区障がい福祉係、新潟市障がい福祉課と連携を図った。
- ・新潟市基幹相談支援センター主催の研修会に参加した。
- ・新潟市基幹相談支援センターや新潟市西蒲区の相談支援事業所、障害福祉サービス事業所等と連携を図った。

5 職員体制

■人員配置

職 種 等	人数
施設長	1
医師（嘱託）	1
サービス管理責任者	2
看 護	6
作業療法士	1
生活支援員	3 5
管理栄養士	1
事務職員	1
特定相談支援事業	
管理者（兼務）	1
相談支援専門員	2

【人員配置による報酬算定状況】

施設入所支援

- ・夜勤職員配置体制加算
- ・重度障害者支援加算
- ・栄養マネジメント加算

生活介護

- ・人員配置体制加算（1.5：1以上）
- ・福祉専門職配置等加算
- ・常勤看護職員等配置加算
- ・リハビリテーション加算

短期入所

- ・栄養士配置加算

■会 議

すこやか福祉会定例会議	毎月 1 回
運営会議	毎月 第3火曜日
業務検討会	毎月 第2火曜日
各係・委員会会議	毎月 1 回

6 生活支援課 業務報告

■入所支援係

【年度目標】 「施設内事故防止のため取り組み強化」

【評 価】 アクシデント発生から評価までの流れが明確化され、対策漏れや風化を防止した。
また、従来の曖昧な対策から組織的かつ具体的な対策を実施することができた。
時折、職員の役割認識不足や引き継ぎの遅れで迅速な対応が難しい場面があったが
アクシデントへの取り組みに関しての一定の成果はあがった。

【活動内容】

- ・生活支援員が利用者を担当することで役割分担を行い、個別支援計画書の作成を実施した。
- ・カンファレンスを利用者、及び生活支援員・看護師・作業療法士・管理栄養士・相談員等、各専門職種に参加にて実施したことによって、利用者のニーズに対して多職種で支援内容を検討しケアプランに反映できた。
- ・原則として中間評価を6か月後、終了時評価を12か月後に実施。又、再アセスメントを、前回作成したアセスメントシートを基に実施したことで、利用者の思いや身体状況等の変化を情報収集しやすくなった。
- ・利用者の急な状態変化、ニーズの変化には、随時カンファレンスを開催してケアプランの再検討を行うことにより円滑に支援を実施できた。

- ・意思疎通が困難な方への同意については、家族面会時の説明や家族宛に郵送で対応した。
- ・完成したケアプラン一式は、支援計画作成会議録と共に回覧した。
- ・利用者がより良い生活のため、業務検討会、生活向上委員会で決定した改善案を実施した。
- ・入院時の病院、家族との連絡調整、利用者に必要な支援を行った。
- ・入退所時の必要な支援、調整を行った。
- ・成年後見制度利用の為の支援を行った。
- ・新型コロナウイルス対策のための会議を行い、対策を実施した。
- ・利用者と職員の双方にとって安全で安楽な移乗方法の検討を行い実施した。
- ・1名新規採用職員に対し、プリセプターを中心に新人研修を実施した。
- ・職員からの相談事や不適切な言動について、主任、係長が担当し随時話し合いを行った。
- ・ケアハラスメントについての職員聞き取り、利用者へのお願いを行った。
- ・業務の流れの見直しを行った。
- ・アクシデント発生時の対応、評価を行い、再発防止に努めた。

■地域支援係

【年度目標】 「地域の社会資源の把握と施設内において社会資源の情報を発信し、利用者ニーズに合わせて相談に対応できるようにいき、他の障害福祉サービス事業者とも情報交換、連携を図りながら支援を行う」

【評 価】 利用者の状況に合わせて都度相談員や家族に連絡し、情報共有を図ることはできた。

地域の社会資源の把握を施設内で発信・共有できるよう取り組みを実施した。
達成度は80%とした。

□生活介護（通所）

今年度新規受け入れ者数	4名
今年度終了者数	1名

□短期入所事業

今年度新規受け入れ者数	13名
今年度終了者数	0名
今年度緊急短期入所受け入れ者数	3名

【活動内容】

- ・サービス担当者会議に参加、他事業所と情報共有し、施設での支援に反映させた。
- ・感染予防対策とし、利用者の体調確認、空気清浄機の活用、手洗い・うがいの励行、都度必要備品等の消毒を行った。
- ・通所利用者、短期入所利用者のADLに合わせた支援を提供した。
- ・多くの新規短期入所利用者のニーズに対応することができた。緊急短期入所も3名受け入れることもでき、地域における施設の役割を果たすことができた。
- ・福祉車両購入の為、補助金申請をおこなったが、審査が通らなかった。

■療護係

【年度目標】 「療護係のビジョンを意識して行動する」

【評 価】 療護係ビジョンを意識し、終末期支援（看取り支援）体制の整備に取り組んだ。看取り支援マニュアルや記録様式を整備し、情報共有と多職種連携を通してチームで終末期支援を検討できる体制づくりにつなげる事ができた。

【活動内容】

□看 護

1. 利用者の健康管理

- ・朝の申し送りから情報を得て、利用者の体調のチェックを行った。
- ・利用者の体重、体温、血圧測定を月1回行った。
- ・利用者検温を1日1回行った。

2. 利用者の医療処置

- ・排便チェック表に添って排便状態を把握し、必要に応じて浣腸、坐薬等を使用した。
- ・膀胱洗浄、留置カテーテル交換、褥創処置、軟膏処置、包交、点眼、点耳、点鼻、爪切り、経管栄養の注入、痰吸引等を行った。
- ・使用した医療物品の消毒、高圧滅菌等を行った。
- ・医療廃棄物を管理、処理の依頼。

3. 利用者の通院介助

- ・通院の送迎、介助を実施した。
- ・主治医への状態報告、主治医からの指示を受け次回の予約確認をした。
- ・調剤薬局へ処方箋を送り、薬の受け取りをした。
- ・個人のカルテに受診内容の記録を行い、必要事項はケース記録等でスタッフに伝達した。
- ・医務室の受診予定表に次回の予約を記入した。

4. 利用者の服薬の管理

- ・主治医から処方された薬を医務室で保管した。
- ・内服薬は個人別に投薬車で管理した。
- ・利用者の1日分の内服薬の準備を行なった。朝、昼、夕、眠前トレイに薬を用意した。
- ・誤薬を防ぐためにトリプルチェックを行いチェック表にサインをした。

5. 嘱託医診療の支援

- ・大西洋司先生に月2回往診時、診察の介助を行なった。
- ・利用者の体調管理に関する相談し、容体が悪化した場合紹介状をいただき他科受診を行った。
- ・利用者の入退院があったときは報告した。
- ・インフルエンザ予防接種の準備と接種の介助を行った。
- ・コロナワクチン接種7回目までの希望者に接種の介助を行った。
- ・大西先生が主治医になっている利用者の定期処方を毎週1回行なった。
現在処方してもらっている44名の利用者を四つのグループに分け、毎週月曜日にファックスを送り、翌週の水曜日に薬を受け取りに行った。

6. 安藤医院(泌尿器科)の往診介助

- ・安藤先生の月2回、水曜日の往診時に診察の介助を行った。
- ・利用者4名のフォーレ交換と3名の薬の処方依頼した。
- ・往診1週間前に個人の定期薬をファックスで依頼した。
- ・フォーレカテーテルの交換、膀胱洗浄の介助を行った。

7. 利用者の入退院の準備および介助

- ・看護情報を作成し入院時用意した。
- ・病院に持っていく薬等の準備をし、生活支援員に衣類等の入院準備を依頼した。
- ・入院中は、支援員とともに病院との連絡を行った。
- ・退院が決まったときは病院の担当看護師より必要な情報を受け取った。

8. 利用者の体重測定、検温、血圧測定を月1回行った。

9. 年間保健衛生計画の実施

- ・インフルエンザ予防接種

施行日：令和7年11月7日 接種人数：利用者46名 職員53名

- ・健康診断 年2回

1回目実施日：令和7年8月28日(木) 午後13時30分～16時00分

健診項目：検尿、採血、心電図、血圧測定、診察

参加人数：40名 受けない方9名(入院中、入院時に健康診断内容を実施済み、他の医療機関で実施済み)

2回目実施日：令和8年2月19日(木) 午後14時00分～16時00分

健診項目：検尿、採血、心電図、血圧測定、(診察なし)

参加人数：42名 受けない方6名(入院中5名、個人で受けた1名)

胸部レントゲン撮影：13名、受けない方7名(入院5名、大西医院で2名)

10. スタッフ研修の実施

- ・バイタル測定等の説明。
- ・新人職員へのオリエンテーション
- ・鼻腔口腔吸引、経管栄養の滴下、半固形注入の研修と評価
- ・「看取り支援マニュアル」作成中

11. その他

- ・処置に使用する薬剤、医療材料、物品等の購入及び管理

入院状況一覧（令和7年4月～令和8年3月）

	入院治療	
	人数	期間（日数）
内科	8	232
神経内科	3	99
精神科	5	195
小児科	1	15
歯科	1	3
呼吸器内科	2	19
てんかん科	1	20
計	21	583

□栄養

【活動内容】

1. 経口維持加算の算定

平澤歯科医師に参加していただき、月1回のミールラウンド実施により、経口維持加算Ⅱを算定した。

2. 口腔衛生管理体制加算

半年に1回、計画を作成し、その内容を職員に周知した。

3. 栄養ケアマネジメントの実施

利用者全員に対して栄養ケアマネジメントを実施した。

栄養状態別にスクリーニングを実施し、さらにモニタリング、必要であれば栄養ケア計画の変更を行った。

4. 委託会社と連携し、安全かつ衛生的に食事の提供を行い、利用者の嗜好が配慮された献立又は季節を感じる献立の作成に努める。

異物混入は1件（刻み食に1cmの毛）食事中に気づいたので、厨房で混入したかは不明。

今年も食材料費の高騰が続き、利用者の要望に応えることが難しい状況であった。

5. 給食会議の企画運営

毎月第3木曜日、14時から実施。

内容：利用者の要望や意見、調理や献立についての要望、行事食についてなど利用者の声には可能な範囲で応えるように努めた。変更を行った。

〈今年度実施した行事食〉

月	行事	主な献立
4月	施設開所日（1日）	抹茶ケーキ
	すまいるデザート（23日）	北海道生クリームどら焼き
5月	端午の節句（5日）	コーンご飯、から揚げ、抹茶パンケーキなど
	すまいるデザート（13日）	沖縄県産紅芋モンブラン
6月	静岡県みどころ御膳（11日）	しらす飯 茄子田楽 落花生なます おぎく 抹茶ババロア
	すまいるデザート（24日）	メロン
7月	七夕（7日）	七夕そうめん デザートなど
	すまいるデザート（9日）	抹茶ムースケーキ
	土用の丑の日（19日）	主食主菜の選択（うなぎ丼/豚丼）
8月	お盆（13日）	いなり寿司など
	すまいるデザート（20日）	西瓜
9月	敬老の日（15日）兼すまいるデザ	モンブラン
	秋分の日（23日）	おはぎ2種（きなこ、こしあん）
10月	スポーツの日（14日）	おにぎり
	十五夜（6日）	お月見ゼリー
	すまいるデザート（8日）	梨
11月	北海道みどころ御膳（11日）	美唄の鶏飯 味噌ラーメン汁 ジンギスカン風 ジャガバタ
12月	冬至（22日）	
	クリスマス（25日）	ピラフ、主菜選択（チーズインハンバーグ/アジフライ）
	大晦日（31日）	年越しそば、おせち
1月	正月（1日）	赤飯、おせち料理
	（3日）	海鮮丼
	七草がゆ（7日）	七草がゆ
2月	節分（3日）	大豆料理
	すまいるデザート（12日）	クラシックプリンケーキ
	福井県みどころ御膳（11日）	五目御飯 呉汁 かわいしの唐揚げ甘酢あんかけ 春菊梅和え
	鍋の日（17日、18日、20日）	坦々鍋 ごま豆乳鍋 石狩鍋
3月	桃の節句（3日）	すし膳（生寿司）
	すまいるデザート（13日）	とちあいかモンブラン
	春分の日（20日）	おはぎ2種（きなこ、こしあん）

6. 嗜好調査

給食会議において、利用者からの意見、要望などを聞いた。食材料費の高騰などで、要望に応えるのは難しい状況だった。

7. 健康教室

月	内容	担当	参加者数
4月	寒暖差疲労とは	看護師	4名
6月	熱中症対策	支援員	6名
7月	かたくり祭座談会	支援員	13名

8月	自律神経を整えて秋バテを予防しよう	作業療法士	6名
9月	感染予防、乾燥による体の変化、毎日の注意ポイント	支援員	4名
10月	インフルエンザに勝つには	看護師	5名
12月	脳は忘れる事で元気になる！	作業療法士	5名
3月	大気汚染について	支援員	3名

□機能訓練

1. リハビリテーションマネジメントの実施

- ・リハビリテーション実施計画書に基づいた個別訓練を実施した。
- ・機能訓練室だけでなく、居室や食堂などのスペースを利用して個別リハビリや自主訓練を行い、機能の維持・回復に努めた。
- ・手作業を中心とした作業活動を提供し、作品を仕上げていくことで、楽しみや意欲向上につながるように支援した。

2. 歩行補助具(車椅子や歩行器など)や日常生活用具(ストマなど)の申請・メンテナンス

- ・各利用者の身体機能に合った車椅子や歩行器で、移動を快適かつスムーズに行うことが出来るようアプローチした。
- ・日常生活上で感じる不自由さの相談を受け、適切な福祉用具などの選定にあたった。
- ・環境整備委員会や事故対策委員会などと協力し、補装具のメンテナンスが定期的に行えるようにアプローチした。

■総務係

令和7年度中期方針に基づき「施設設備整備」の取り組みを実施した。

【年度目標】「環境整備等を通じて施設の運営を支えると共に、ご利用者が安心できる施設づくり、職員が働きやすい環境づくりを行います」

【評価】様々な備品・設備等の老朽化により、修繕が多い一年だった。高額な備品・設備改修等については、補助金等が使えるか随時検討していきたい。限られた予算ではあるが、利用者や職員がなるべく不便な思いをしないように心がけていきたい

【活動内容】

施設運営事務全般に関わる業務、経理、労務管理、施設管理等を行った。

- ・職員の入職・退職、産休・育休に関する手続き（提出書類案内等）
- ・職員健康診断、ストレスチェックの取りまとめ
- ・職員勤怠の確認
- ・給与資料作成
- ・月末業者請求等の支出会計処理
- ・介護報酬、利用料等の収納会計処理
- ・利用者への利用料請求業務（請求書印刷、引き落とし、現金受領処理）
- ・予算作成
- ・現金出納管理
- ・出張命令、旅費作成

- ・補助金・助成金申請
- ・施設設備、機器の保守管理
- ・備品、消耗品の発注業務
- ・施設内を巡視し給湯・雑用水・エアコン設備等の運転状況確認、節電の実施

□令和7年度設備・備品、更新・修繕

5月	EHP-6系統室外機圧縮機交換修繕工事他	722,700円
〃	2F倉庫内エアコン冷媒配管保温材交換	136,400円
〃	ガス検知口補修	118,800円
〃	厨房手洗器排水詰まり工事	72,600円
6月	負荷開閉器・各所コンセント更新工事	275,000円
7月	空調機修理	218,680円
8月	スタンディングリフト（スリング付き）購入	632,000円
〃	検食用冷凍庫購入	157,850円
〃	冷凍冷蔵庫（厨房）購入	443,400円
〃	スプリンクラーヘッド交換	236500円
10月	暖房専用ボイラー（ダイサービス）購入	1,062,655円
〃	厨房手洗器排水詰まり工事	99,000
〃	高圧気中開閉器更新工事	1,157,200円
〃	EHP-4系統空調機修繕工事	647,900円
〃	屋上防水修繕工事	138,600円
2月	療護浴室床張り替え工事	112,980円

施設設備整備（令和6年～8年 中期方針）

令和7年度 トイレ用加圧給水ポンプユニット更新工事

7 業務委員会

職員の業務分担としての委員会活動報告

■権利擁護

令和7年度中期方針に基づき、「接遇力向上の取組み」を実施した。

【年度目標】 「適切な支援に向けた取組みを強化し、虐待を未然に防ぐ」

【評価】 ・不適切な支援についての事例検討シートは必要だと思われるが、この取組みによって全職員の意識向上、気づきに繋がられるか等の課題を感じた。また、結果を周知することも難しく、権利擁護・虐待防止につなげる方法を見出すことができなかった。
・権利擁護への意識も高められるよう身体拘束に関する研修を年1回以上職員向けに開催した。

1. 苦情・要望

	要望	報告	苦情	報告	苦情の分類	合計
4月	1	1	0	0	施設に対して	1(1)
5月	0	0	1	0	施設に対して	1(0)
6月		0	1	0	他利用者に対して、個人の嗜好・選択	2(0)
7月	0	0	0	0		0
8月	0	0	1	0	職員に対して	1(0)
9月	0	0	0	0		0
10月	1	0	2	0	職員に対して、施設に対して	3(0)
11月	0	0	1	0	他利用者に対して	1(0)
12月	1	0	1	1	職員に対して	2(1)
R7、1月	1	0	1	0	職員に対して	2(0)
2月	0	0	0	0		0
3月	1	0	1	0	職員に対して	2(0)
合計	6	1	9	1		15(2)

()報告件数

【年間苦情・要望総数】 要望6件、苦情9件（すべて解決・対応済）

- ・毎月の業務検討会、運営会議において、苦情・要望内容の報告を実施した。
- ・苦情・要望内容と1ヶ月後の評価を、毎月第三者委員へ報告を行った。

2. 不適切な支援に対する取り組み

- ・業務検討会内でグループワークを行い、かたくりの里での不適切な支援とその疑いのある事例を挙げてまとめ、内容を全職員に周知した。その中から毎月の重点目標を設定し、毎日勤務開始時に唱和した。

3. 権利擁護、虐待防止に対する取り組み

- ・委員会にて各委員長に虐待防止研修を実施した。
- ・各委員会会議にて委員長より虐待防止研修を伝達した。
- ・虐待防止、業務の振り返りチェックリストの振り返りを年度末に全職員を対象に実施。集計結果と感想報告を行った。
- ・オムツの当て方に関する改善の取り組みを行った。

4. 身体拘束等の廃止に向けた取り組み

- ・委員会で身体拘束等に関する報告を実施した。
- ・個別支援計画に組み込み、定期的に解除方法の検討を行った。
- ・身体拘束適正化委員会にて、身体拘束の必要性、支援の工夫等アセスメントシートを活用し、検討を行った。
- ・令和7年度、身体拘束に関する施設内研修を実施した。

【令和7年度 身体拘束解除状況】

入所者	1件	通所利用者	0件		
【令和7年度 新規身体拘束同意状況】					
入所者	0件	短期入所者	0件		
【令和7年度 身体拘束同意状況】					
入所者	1名	通所利用者	1名	短期利用者	1名

接遇力向上の取組み（令和5年～7年 中期方針）

- ・接遇力向上のための研修を全職員に実施した。
- ・適切な支援に向けた行動目標を定め、毎日唱和した。

意思決定支援の推進（令和6年～8年 中期方針）

- ・身障協版 意思決定支援ガイドラインを購入し、全職員へ配布した。
- ・意思決定支援に関する施設内研修を実施
- ・地域移行に関する要綱を作成。また、意向確認のための書式を作成した。

■安全

【年度目標】啓発活動等を行い、褥瘡の発生0を目指します。

【評価】

- ・感染症情報を発信することはできたが、意識を高められたかは疑問がある為、達成度は低い。
- ・職員にはアルコールスプレーの携帯を意識付け、食前には利用者の手指消毒実施。介助毎にアルコールでの消毒をお願いしたが、確認が不足していた。（アンケートなど実施していきたい）
- ・感染症の研修は動画視聴や、3人1組で食事介助中の嘔吐と言ったシチュエーションで事前に手順を確認し、実践するという形式で行った。
- ・褥瘡に関しては、啓発活動を行い職員への注意喚起を行った。始めは良かったと思うが、時間がたつにつれて意識の薄れもあったのではないかとされる為、今後は周期で啓発活動を行う。

1. 褥瘡対策検討

【活動報告】

- ・入浴時、排泄介助時等に身体の観察を行い、異常発見時は看護師の確認後に褥瘡診療計画を作成した。
支援員（介助方法）管理栄養士（栄養強化の有無）NS（処置方法）OT（移乗、座位、臥位）について検討し周知した。
- ・年間を通じて4名の利用者に褥瘡が認められた。
- ・褥瘡予防として寝具や衣類などに関して啓発を行い、意識を高められるようにした。
- ・臥床時間が長く、発赤などある利用者をピックアップし体交をするなど喚起をした。

2. 特定行為について

【活動報告】

- ・医療的ケアを必要とする人たちへの支援を実施した。
- ・喀痰吸引等研修2号研修の基礎研修に2名参加し、その後実施研修を行った。

3. 感染症対策

【活動報告】

- ・新型コロナウイルスを含む感染症情報を収集し、職員への注意喚起を行った。
- ・感染症対策の備品の管理を行った。
- ・新型コロナウイルスを含む感染症の事業継続計画（BCP）の更新に取り組んだ。
- ・感染症に関わる研修を動画や実践を通して行った。（食中毒、嘔吐物処理）
- ・BCP を活用できるよう研修を計画、実施した。

■事故対策委員会

【年度目標】 KY 活動を通して事故を減らす

【評価】 重大な事故は減り、事故件数も減ったため概ね達成できた。ただし、事故防止につながるヒヤリハット報告は不十分だった。

【活動内容】

1. 事故・ヒヤリハット報告の管理・分析

【事故・ヒヤリハット報告集計】

事故発生件数 83件 ヒヤリハット発生件数 165件

事故・ヒヤリハットの確認事項のチェック表を作成し、入所支援係の主任に報告書作成の際に使用してもらうようにした。『誰が見ても状況が分かる』報告書が作成できるよう取り組む必要がある。

2. 再発防止策を職員に周知させる方法の検討

- ・再発防止策の周知方法は、変更しなかったが、特に重要な申し送り事項などは、スタッフルーム内に掲示して注意喚起を行った。
- ・対策担当を各主任係長としたことで、現場での課題意識の向上につながった。

3. 危険予知活動（KY 活動）

- ・危険予知訓練（KYT）の研修を各委員会にて実施した。
- ・リスクマネジメントの行動目標を毎日のミーティング時に声出し確認した。（隔月）
- ・服薬手順書の見直しを行った。
- ・入所支援係へのリスク収集のアンケートを実施し、対策を検討した。

4. 介護リスクマネジメントの取り組み

- ・介護リスクマネジメント研修動画の作成し、全職員が各自視聴する方法にて研修を実施した。研修後は、感想などの記入をいただき、次回以降の研修に役立つようにした。
- ・障害者支援施設における紛争予防・対応事例の研修を計3回実施した。

■環境整備

【年度目標】 施設設備の点検と更新

【評価】 ・施設ベッドの故障の有無の確認、点検を行った。

- ・備品発注方法を見直し PC での発注のシステムを構築した。

1. 備品

【活動内容】

- ・消耗品の発注と管理、購入手配
- ・介護用品の管理、発注
- ・故障、破損物など修理依頼方法の更新
- ・備品倉庫管理
- ・備品管理簿、備品貸出表の管理

2. 環境整備

【活動内容】

- ・利用者の日常生活における環境整備、向上、職員業務の円滑さを目的とし、施設内環境整備、週間清掃、洗濯室掃除等の業務を遂行した。
- ・備品、消耗品の保管場所の検討、既存の収納スペースの整理と活用法の検討を行った。
- ・棚、浴室備品の整理。
- ・毎月の担当利用者の車椅子点検を実施。
- ・ベッドの備品管理、故障個所の点検を実施。

【年間活動】

4月11日	ガラス網戸清掃
4月18日	廊下ワックス清掃
4月18日	雨水濾過装置点検 貯湯槽清掃
6月	衣替え
7月	ベットパット、布団交換（冬→夏）
6月12日	エアコンフィルター清掃（居室含む）
7月8日～9日	換気扇掃除
10月4日	廊下ワックス清掃
10月8日	カーテンクリーニング
10月	ベットパット、布団交換（夏→冬）、衣替え
10月28日	ガラス、網戸清掃
3月	エアコンフィルター清掃（共用部のみ）
	備品管理簿チェック 倉庫整理

■生活向上

【年度目標】利用者個人の意向やADLを考慮しながら、適切な支援がスムーズに行えるように業務の見直しや検討を行う。介護負担軽減に向けた取り組みを行い、利用者と職員共に安心安全な介助を目指す。

【評価】 利用者の意向に沿いながら適切な支援が行えるよう検討、見直しが行えた。

1. 入浴

【活動内容】

- ・入浴日程表、入浴順番表、衣類準備表は利用者の変動に応じて随時見直し更新した。

- ・入浴日、入浴時間、入浴スタイル（家庭浴、特浴、等）の変更、検討
- ・浴室の適切な温度調整のため、夏季はウインドエアコン、冬季はセラミックヒーターを使用し利用者、職員の双方の身体的負担の軽減に努めた。
- ・経年劣化により汚損、破損した物品がないか定期的に点検し必要に応じて購入した。

2. 排泄

【活動内容】

- ・オムツ交換時間の見直しと変更を行い、排泄チェック表を作成した。
- ・オムツの使用数、当て方を検証し適切な介助方法で行うよう見直しをした
- ・女性のオムツ交換者が増加した為、交換時間の見直しを行い、使用するパットの種類を変更した。
- ・新規利用者の追加に伴う、排泄チェック表の更新、見直し。
- ・排泄用布エプロンを感染症予防対策、衛生面の観点から廃止し使い捨てエプロンに移行した。

3. 整容

【活動内容】

- ・顔拭き、髭剃りチェック表、爪切りチェック表の管理・更新を行った。
- ・口腔ケア用品の交換と状態の確認について毎月連絡、申し送りを行った。
- ・行動目標として衣類汚れをなくすため10時15時の間食事に使い捨てエプロンの使用を始めた。
- ・理美容の管理を行い滞りなく実施できた。
- ・衛生面、介助面をふまえ顔拭きタオルを使い捨てタオルに変更した

4. 食事

【活動内容】

- ・食席の見直し、変更。
- ・食事介助を行う職員の配置変更
- ・居室配膳者への配膳時間と方法の見直し
- ・月一回給食会議への出席と参加利用者の選出
利用者から出た食事に関する意見の収集
- ・冬季に行われる鍋料理の食席の決定と職員配置の検討
- ・水分、おやつチェック表の見直し、更新
- ・食席や食事に関する苦情、要望にその都度対応した
- ・給湯室冷蔵庫の保存期間の管理基準の制定

5. 購買、買い物サービス

【活動内容】

- ・むつみや（毎週木曜FAX、水曜納品）、リハビリ病院売店（毎週火曜FAX、金曜納品）いきいき通販（毎月第2・第4火曜FAX）をそれぞれ実施した。
- ・購買や通販では購入が困難な物品について買い物リストを作成し、通所送迎時に購入した。
- ・工房やひこのパン販売（毎月第3金曜日）において、年間計画を立て、パン購入希望者の注文聞き取り、一部集金等を行った。
- ・衣料品販売を計画し実施した。

6. 腰痛予防対策

【活動内容】

- ・職員に介護負担に関するアンケートをとり、移乗方法改善の要望が多かった利用者への取り組みを行った。スライディングボード等を活用することにより、利用者、職員とも身体的負担が軽減した。
- ・ADL低下に伴い移乗方法の変更が必要になった利用者の対応をその都度行った。
- ・リフト、スライディングシート等の移乗用具の在庫確認を行い管理表の作成をした。また、経年劣化した移乗用具の確認、買い直しを行った。

■防 災

【年度目標】災害時に備え、避難訓練では障がい特性に応じた避難方法を取り入れ、出てきた課題を検討し、職員へ周知する。

- 【評 価】・避難訓練時には声掛けを行ない配慮はしていたが防火扉を開け閉めする利用者など新たな問題も見つかった。
- ・防災教育を増やし避難方法の周知や意識付けを行った。

【活動内容】

日付	実施内容	備考
4月	備品ポータブル電源点検	
4月	非常通報装置点検（業者）	
5月4日	防災教育	地震想定 BCP 施設内研修
5月27日	春期総合避難訓練（消防参加なし）	参加5名（大原、遠藤、皆川、斉藤、石川）
6月	備品ポータブル電源点検	
7月17日	防災教育	火災想定机上訓練
8月22日	緊急連絡網訓練（LINE 配信）	
8月	備品ポータブル電源点検	
10月	利用者・職員への防犯訓練説明	
10月9日	防犯訓練	参加6名（吉田、五十嵐、海津、熊谷、木村、田川）
10月	非常通報装置点検（業者）	
11月	備品ポータブル電源点検	
11月25日	夜間想定避難訓練	参加者3名（諸橋、本多、番場）
12月	雪害対策検討、消雪設備等の点検	
12月7日	防災教育	火災想定机上訓練
1月	非常通報装置点検（業者）	
1月31日	防災教育	不審者想定机上訓練
2月27日	電話による緊急連絡網訓練	

■研 修

【年度目標】

積極的な外部研修への参加と施設内部へのフィードバックなど、充実した研修体制により、職員のスキルや専門性の向上につなげることができる。

【評 価】

- ・新人職員研修について、座学に関しては概ね計画通りに進行することができた。実技に関しては課題が残り、来年度以降は基本的な日常生活支援に対してそれぞれ担当者を設け、細かく指導していくこととした。
- ・今年度も年間を通して幅広い研修に参加することができた。復命書の記録も行えていたものの、全職員へのフィードバックはできていないことも多かった。

1. 研修

【活動内容】

- ・研修マニュアルの管理
- ・施設内研修・法人内研修について開催の調整
- ・施設外研修への派遣・手続き
- ・新人研修についての調整

① 外部・オンライン研修

日付	研修・会議内容	場 所	参加者
5月21日(水)	令和7年度 第1回 西蒲区障がい者自立支援協議会	巻ふれあい福祉センター	1名
6月3日(火)	コミュニケーション力向上研修	ユニゾンプラザ	1名
6月11日(水)	福祉職のためのトラブル対応研修	オンライン	1名
6月17日(火)	西・西蒲区障がい者虐待防止マネージャー連絡会	黒崎市民会館	1名
6月19日(木) ～20日(金)	関東・甲信越地区身体障害者施設協議会 令和7年度 関プロ職員支援力アップ勉強会	ホテルニューイタヤ	2名
6月25日(木)	令和7年度 第1回 西蒲区相談支援事業所会議	西蒲区役所	2名
7月8日(火) ～9日(水)	第二種 衛生管理者受験対策講座	新潟県経営者協会 会館	1名
7月18日(金)	新潟県身体障害者施設協議会 令和7年度 第1回 総会並びに施設長庶務担当者会議	ホテルニューオー タニ長岡	2名
7月30日(木)	令和7年度 第2回 西区・西蒲区相談員等研修 このゆびとまれ	西区役所	1名
7月31日(木)	口腔ケア研修	ユニゾンプラザ	2名
8月18日(月) ～19日(火)	福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程 初任者コース①	ユニゾンプラザ	1名
8月20日(水)	令和7年度 地域福祉コーディネーター育成研修	新潟市役所	1名
8月20日(水)	第2回 西蒲区障がい者自立支援協議会	巻ふれあい福祉センター	1名
8月26日(火)	新潟県身体障害者施設協議会 令和7年度 職員研修会	ホテルニューオー タニ長岡	6名
8月27日(水)	令和7年度 第2回 西蒲区相談支援事業所会議	巻ふれあい福祉センター	2名
9月9日(火)	気づく力研修	オンライン	2名
9月9日(火)	安全運転管理者等講習	西蒲地区交通安全センター	1名
9月9日(火)	公正採用選考人権啓発推進員等研修会	吉田産業会館	1名

9月10日(水)～ 11日(木)	令和7年度 リフトリーダー養成研修	サンシップ富山	1名
9月11日(木)～ 12日(金)	第47回 全国身体障害者施設協議会研究大会	オーバードホール 富山国際会議場	2名
9月16日(火)	本人・家族の願いに応える法人後見推進フォーラム	江南区文化会館	1名
9月17日(水)	新潟市給食指導会	オンライン	1名
9月25日(木) ～26日(金)	甲種防火管理講習	ユニゾンプラザ	1名
10月1日(水)	第1回 伝える力研修	オンライン	1名
10月1日(水)	令和7年度 第3回 西区・西蒲区相談員等研修 このゆびとまれ	みずほ福祉会 総合福祉センター	1名
10月3日(金) ～4日(土)	日本高次脳機能障害 友の会 第21回 全国大会2025 in福井	福井市AOSSA 福井県民ホール	1名
10月7日(火)	第2回 福祉職の接遇マナー研修(基礎編)	燕三条地場産セン ターリサーチコア	1名
10月10日(金)	令和7年度 新潟県身体障害者施設協議会 支援担当課長会議	ホテルニューオー タニ長岡	2名
10月16日(木) ～17日(金)	関東・甲信越地区 身体障害者施設協議会 令和7年度 第43回 職員研修大会	アピオ甲府	2名
10月16日(木) ～17日(金)	福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程 中堅職員コース②	ユニゾンプラザ	1名
11月10日(月) ～11日(火)	福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程 中堅職員コース③	燕三条地場産セン ターリサーチコア	1名
11月12日(水) ～13日(木)	第23回 地域生活支援推進研究会議	灘尾ホール	1名
11月15日(土)	清水基金国内研修参加者対象 フォローアップ研修	オンライン	1名
11月17日(月)	令和7年度 第4回 西区・西蒲区相談員等研修 このゆびとまれ	西区役所	1名
11月17日(月)	令和7年度 新潟圏域高次脳機能障害支援従事者研修会	江南区文化会館	2名
11月18日(火)	関東・甲信越地区 身体障害者施設協議会 令和7年度 第2回 施設長会議	ホテルメトロポリ タン高崎	2名
11月25日(火) ～26日(水)	福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程 チームリーダーコース③	燕三条地場産セン ターリサーチコア	2名
11月28日(金)	令和7年度 新潟県身体障害者施設協議会 専門職会議	ホテルニューオー タニ長岡	2名
11月29日(土)30日 (日)12月7日(日)	2025年度 社会福祉士実習指導者講習会	ユニゾンプラザ	1名
12月4日(木)	カスタマーハラスメント研修	オンライン	1名
12月4日(木)	中堅職員向けリーダー養成研修	オンライン	1名
12月9日(火)	看取りケア研修～利用者・家族に寄り添うために～	ユニゾンプラザ	2名
12月11日(木) ～12日(金)	全国身体障害者施設協議会 第12回 職員スキルアップ研修会	灘尾ホール	1名
12月12日(金)	ストレスマネジメント研修	ユニゾンプラザ	1名
12月17日(水)	介護現場におけるハラスメント研修	オンライン	1名
1月21日(水)	障害者虐待防止マネージャー研修会	灘尾ホール	1名
2月13日(金)	新潟市障がい者福祉サービス事業所 管理者連絡会 新春懇談会	万代シルバーホテ ル	1名

2月20日(金)	新潟県身体障害者施設協議会 令和7年度 第2回 総会並びに施設長庶務担当者会議	ホテルニューオー タニ長岡	2名
3月3日(火)	全国身体障害者施設協議会 第38回 経営セミナー	灘尾ホール	1名

② 施設内研修

日付	研修・会議内容	担当	参加者
5月7日(水) ～21日(水)	リスクマネジメント研修	事故対策委員会	全職員
5月4日(日) ～14日(水)	自然災害BCP研修	防災委員会	全職員
7月8日(火)	人材育成・定着のためのリーダー役割	吉田係長	業務検討会 権利擁護委員会
7月28日(月) ～8月4日(月)	非常食に関する施設内研修	防災委員会	全職員
7月28日(月) ～8月21日(木)	令和7年度 専門職のためのてんかん講演会(オンライン)	研修委員会	全職員
8月25日(月) ～9月10日(水)	感染症BCP研修	安全委員会	全職員
11月各委員会内	食中毒・嘔吐物処理研修	安全委員会	全職員

③ 法人研修

○オンラインフィードバック研修

日付	内容	参加者
12月～2月	オンラインフィードバック研修「高齢者虐待防止と身体拘束」	全職員

④ 新人職員研修について

- ・今年度の新規採用職員は入所支援係 正職員1名、療護係 正職員3名。
- ・新人職員研修計画表に基づき実施した。

2. 実習生受け入れ

期間	学校名	実習名	人数
2月18日～2月27日	新潟青陵大学	ソーシャルワーク実習Ⅰ	1名
3月10日～3月19日	新潟医療福祉大学	ソーシャルワーク実習Ⅱ	2名

■日中活動

【年度目標】

利用者の希望を取り入れ、余暇の充実、生きがい作り・発見、他利用者との交流を目的として取り組む。

【評価】

ケアガイドラインより、地域情報発信や交流を目標にし施設内に地域のコミュニティ版を作り情報発信を行った。また行事などにボランティアの方を招いて地域の交流もでき目標は概ね達成できた。

【活動内容】

1. 日中活動

①趣味的活動

【活動日】 毎月の日中活動予定表に沿って実施

【活動時間】 13:45～14:45

【活動項目】カラオケ、書道、調理レク、映画、散歩、ゲームなど

②調理レク、食べる会

【活動内容】

○調理レク「こいのぼりケーキ」 5月7日(水) 参加人数 34名

こいのぼりの形をしたケーキを作り食べていただいた。

○苔玉販売 7月10日

○かき氷(調理レク) 7月16日(水) 参加人数:21名

かき氷機を使いかき氷を作り食べていただいた。

○いも餅(調理レク) 9月17日(水) 参加人数 28名

施設で収穫したじゃがいもを使用しいも餅を作り食べていただいた。

○移動カフェ 11月21日 ボランティア2名来所。

○焼き芋を食べる会 11月10日(月) 参加人数:42名

五泉市の「いも奉行」様より、美味しい焼き芋を提供していただいた。

○ひな祭りケーキ作り 3月4日(水) 参加人数:25名

ひな祭りケーキとして、3色ケーキを作って、皆さんでいただいた。

2. 外出支援

①外出支援

・希望者33名の外出支援を実施した。行先はスーパー、弥彦公園もみじ谷、上堰瀉公園、岩室散策と限定し、飲食禁止として実施した。

②施設外行事

【身障協下越地区オセロ交流会】 参加者:3名

6月27日(金)新潟ふれ愛プラザにて開催。

【身障協下越地区スポーツ交流会】参加者:3名

10月15日(水)新潟ふれ愛プラザにて開催。

【ポップサーカス新潟講演】 参加者:2名

8月7日

【岩室ひな巡り】参加者:21名

2月22日～3月8日 いわむろや

3. ボランティア

【活動内容】

・慰問などの受け入れ

・個人ボランティアの活動サポート

○ビューティタッチセラピー体験 1月23日 ボランティア1名来所

【ボランティア活動】

- ・傾聴ボランティア 対象利用者 2名
- ・慰問

4. 行事

【活動内容】

- 桜を見る会 4月16日(水)
施設の桜を見ながら桜餅を食した。その他で1週間お花見期間を作り花見散歩を行った。
- 運動会 6月11日(日)
感染症対応で中止。
- 納涼祭 8月6日(水) 参加人数：35名
枝豆と焼き鳥と一緒にノンアルコールビールで乾杯して楽しんだ。ゲームブースを用意し参加者にはアイスなど提供した。
- クリスマス会 12月23日(火) 参加人数：42名
ボランティアの方からのハーモニカ演奏後、皆さんでケーキをいただき、利用者全員にプレゼントをお渡しした。
- 餅つき会 1月14日(水) 参加人数：37名
杵と臼でつくたてのお餅を提供し、新年のお祝いをした。昨年度のおしるこが好評だった為今年度もおしるこおろし醤油を提供した。
- 節分 2月4日(水) 参加人数：32名
鬼役の人に向けてボールを投げ節分を楽しんでもらい和菓子を提供し食べていただいた。

■情報管理

【年度目標】 地域住民の福祉理解に向けての道筋を作る

【評価】 かたくり通信の発行に時間を要した。Instagramは定期的に活用できたと思うがそれ以外のSNSはあまり活用できなかった。

1 【活動内容】

日付	情報管理	広報
4月	新年度マニュアルの発行	
5月	入所利用者手順書更新開始(~6月)	
7月		写真印刷・掲示・配布
9月		写真印刷・掲示・配布
11月		写真印刷・掲示・配布
1月	業務マニュアル更新開始	写真印刷・掲示・配布
2月	業務マニュアル更新	
3月	業務マニュアル編集	かたくり通信54号発行

※通年

種類整理・管理、スタッフルームホワイトボード整理、PC内データ整理
行事等活動時の写真撮影

※随時

Facebook、Instagram、ホームページの管理、更新
救急隊への情報提供カードの更新
新規入所者の情報整備
PDCA サイクルを用いた委員会業務の改善

■業務検討会

【年度目標】 ケアガイドラインの進捗管理を強化し、課題解決の取り組みを推進する

【評価】 ケアガイドラインより課題を抽出し、取り組みを開始する事ができた。ただし、取り組みの進捗状況の把握がうまくいかず、課題解決までは至らなかった。

【活動内容】

第三者評価基準・ケアガイドラインから、かたくりの里が取り組まなければならない事、施設としてあるべき姿の想定、サービスの向上、業務の効率化等の課題や、運営項目においての課題を抽出し、改善点として提案した。課題やテーマの提案や改善は、業務検討会において、PDCAサイクルを意識して改善計画、実施計画・実行・評価・改善、是正処置を実施した。

1. 第三者評価・ケアガイドラインの活用について

・各委員会・係でケアガイドラインより課題を抽出し、解決に向けて取り組んだ。

係・委員会	検討課題
サービス管理責任者	地域生活移行に向けての計画作成について
療護係	救急対応について
地域支援係	地域における社会資源の把握について 行政、社協、民生委員、児童委員、教育機関等の連携について
すこやか	記録の管理について
安全委員会	BCP を活用しながら、感染症に関する対応ができるよう研修を計画、実施 一般的な清潔に対する留意事項について
事故対策委員会	事故対応の原則について 事故報告書作成時にチェック表を使用する
生活向上委員会	衣類の管理について
環境整備委員会	浴室の環境整備について
防災委員会	防犯対策について
日中活動委員会	行事等の企画・立案・情報発信について
情報管理委員会	地域住民の福祉理解の促進について
研修委員会	研修実施について
権利擁護委員会	苦情解決の仕組みの周知と理解の促進について 不当な差別的取り扱いを行わないことについて

業務検討委員会	課題発見後の対応について 第三者評価について
---------	---------------------------

2. 身障協認定制度

・身障協認定制度について、業務検討会にて認定条件に付いて確認し、令和8年2月に回答を行った。次回令和9年度に受審予定。

3. 課題検討について

課題について PDCA サイクルを意識し、以下の課題について解決へ向けての取り組みを行った。

【主な検討内容】

- ・救急隊への情報提供シートについて
- ・身障協認定制度について
- ・夜間の防犯と利用者の安全対策について
- ・ノーリフトの取り組みについて
- ・かたくり祭について
- ・人事考課制度の構築と運用について
- ・ベッド入れ替えについて
- ・ICT 導入検討について
- ・第三者評価受審について
- ・令和8年度業務委員会編成について
- ・個別支援計画に基づいた記録方法について

4. 施設と利用者の話し合い

【活動内容】

・毎月「利用者と施設の話し合い」を実施。実施する為の準備・司会進行。

【話し合い内容】

実施日	内 容	利用者参加人数
4月24日	職員の動向について	28名
5月22日	利用者・職員の動向について	25名
6月26日	夜間エレベーターの施錠について、感染症の対応について	27名
7月24日	スタンドアップリフトの導入について	32名
8月27日	利用者・職員の動向について	26名
9月25日	献立の変更について、停電・防犯訓練について	28名
10月23日	スポーツ交流会表彰、エアコン切替について、かたくり祭について	31名
11月27日	利用者の動向について、食堂掲示板について	39名
12月25日	シン食事サービスについて、職員の動向、撮影協力のお願	29名
1月22日	シン食事サービスについて、利用者の動向、撮影協力のお願	22名
2月26日	利用者・職員の動向、理事会・評議員会について	25名
3月25日	職員の動向、新潟コロナウイルス等に関する対応について	26名

○福祉人材の育成と定着に向けた取組み（令和5年～7年）

- ・全職員に対し自己申告書を実施し、希望者に対し面接を実施した。
- ・ビジョン実現型人事考課制度トライアル運用に関する説明会を業務検討会にて実施し、全職員に目標管理を行った。

8 施設外活動

■身体障害者施設協議会

日付	研修・会議内容	場 所	参加者
6月19～20日	関東・甲信越地区 職員支援力アップ勉強会	ホテルニューイタヤ	2名
6月27日	下越地区オセロ交流会	亀田ふれあいプラザ	2名
7月18日	新潟県身体障害者施設協議会 第1回 総会・施設長庶務担当者会議	ホテルニューオータニ長岡	2名
8月26日	新潟県身体障害者施設協議会 職員研修会	ホテルニューオータニ長岡	1名
9月11～12日	全国身体障害者施設協議会 研究大会	オーバードホール富山国際 会議場	2名
10月10日	新潟県身体障害者施設協議会 支援担当課長会議	ホテルニューオータニ長岡	2名
10月15日	下越地区スポーツ交流会	亀田ふれあいプラザ	4名
10月16～17日	関東・甲信越地区 職員研修大会	アピオ甲府	2名
11月18日	関東・甲信越地区 第2回 施設長会議	ホテルメトロポリタン高崎	2名
11月28日	新潟県身体障害者施設協議会 専門職会議	ホテルニューオータニ長岡	2名
12月11～12日	全国身体障害者施設協議会 職員スキルアップ研修	灘尾ホール	1名
2月20日	新潟県身体障害者施設協議会 第2回 総会並びに施設長庶務担当者会議	ホテルニューオータニ長岡	2名
3月3日	全国身体障害者施設協議会 経営セミナー	灘尾ホール	1名

9 地域交流

○地域交流スペースの活用

- ・社会福祉協議会主催の「ボランティア養成講座」（全2回）を地域交流スペースを会場に開催した。地域住民に対する福祉ボランティア育成の場として活用した。
- ・令和8年度は、地域住民の団体に地域交流スペースを貸し出すことになっている。

○地域連携推進会議の開催（令和7年～9年）

- 令和7年7月29日に第1回地域連携推進会議を開催した。
外部団体から6名の方に参加していただき、会議開催に併せ施設見学も実施。

10 補助金・助成金等 事業報告

■ 国土交通省 自動車事故被害者支援体制等整備事業	594,780 円
■ 新潟市 障がい福祉サービス事業所等物価高騰対策支援金	1,168,000円
■ 新潟県 社会福祉施設等原油・原材料価格高騰等対応設備導入支援事業補助金	906,000円
■ 真柄福祉財団 上期備品等・施設整備助成金（真柄福祉財団）	506,000円
■ 新潟県医療機関・社会福祉施設光熱費等高騰対策緊急支援事業補助金	150,000円
■ 令和7年度結核予防費補助金事業実績報告書	3,360円